

「指導方法の工夫改善定数の配置」に関する申し入れに対する 和泉市教委の回答

2017.2.14

(1) 【資料】 府教委の回答・確認事項 の にあるように、「習熟度別指導」の具体的な方法については、各学校の自主性を尊重すること。特定の方法への書き換えを押しつけないこと。

回答：「習熟度別指導推進事業に関する事務の取り扱い要項」に従い、各学校へ指導する上で、習熟度別指導の方法について画一的に押しつけるものではない。

(2) 【資料】 府教委の回答・確認事項 の にあるように、数値目標を各学校に押しつけないこと。

回答： 年間授業数の30%程度を習熟度指導することを一定目標と考えているが、習熟度別指導の時数等を画一的に押しつけるものではない。

(3) 習熟度別指導、AS（アクティブスクール）などの画一的なおしつけず、配置校の選定についても公正・公平な教員配置になるようにすること。

回答： 習熟度別指導推進事業、AS推進事業にかかる配置校選定については、学校と十分な協議を行い、市として公平・公正な配置に努めている。

【資料】

大阪府「習熟度別指導推進事業に関する事務の取り扱い要項」にある、「(2) 実施にあたっての留意点」は変わるものではない。

ア、学習単元の目標は、各習熟度別グループとも同一とする。

イ、教科や単位によっては、同一学級内での習熟度別学習も、習熟度別指導の形態とみなす。

ウ、児童・生徒に優越感や劣等感を感じさせることのないよう、次の点に留意する。

習熟度別グループは、長期間固定せず、教員が児童・生徒の習熟の程度を的確に把握するとともに、児童・生徒が自己選択できるようにするなど、児童・生徒の意向を踏まえて編成すること。

実施にあたっては、指導方針や指導計画を示すなど、保護者の理解を十分に得ること。

同一学級内で、授業時間の途中から習熟度別学習を取り入れた場合、「習熟度別指導」1時間とカウントしてもよい。（たとえば、ローマ字やそろばんの授業の後半に、習熟度別学習を取り入れた場合など）

来年度も、年間授業時数の30%程度を習熟度別指導とすることを事業目標にしているが、これは府全体としての数値目標で、市町村教育委員会や各学校に押しつけるものではない。2015年度は、府全体とでは、小学校算数で47.2%、中学校数学37.7%、英語36.1%での実施計画となっている。

様式3-1および3-2の「実施計画書」の「4.実施計画」の一覧表で、「増加指導時数の内訳」において習熟度別時数を、また「標準授業時数に対する習熟度別指導の割合」を記入するように求めているが、「～時間以上」や「～%以上」などの基準を学校に押しつけるものではない。子どもの実態、学校・地域の実情に応じて、現実的な数字の記入を求めている。また、「4.実施計画」の一覧表で、学年 教科を記載しているが、すべての対象教科での実施や、小学校3年生～6年生のすべての学年、中学校のすべての学年での実施を求めるものではない。また、「実施計画書」はあくまでも現時点での計画であり、実際の実施時数と異なることは当然あり得る。

和泉市教委の回答は、
習熟度指導の時数を画一的に押しつけるもので

はない。同一学級内での習熟度別学習も習熟度別指導の一形態とみなす。

授業の後半から習熟度別指導にした場合も1時間とカウントしてよい。など、時数や形態を学校が決めることを認めるものです。

私たちは、子どもたちの豊かな学びを保障するには、習熟度別指導ではなく、少人数学級の実現こそが必要であると考え

ます。泉北教組は今後も習熟度別指導や、数値目標の設定など画一的な押しつけに反対するとともに、少人数学級の実現に向けての運動をすすめていきます。



カジノあかん大阪集会
3月25日(土) 13:30
エルシアター（エル大阪2Fホール）

バクチで経済活性化!? イヤイヤイ
万博とカジノはセット!? ナイナイ!!

教職員の生活と権利を守るため、泉北教組に加入してください。